



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年10月31日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <https://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	45,543	△0.4	3,044	△16.8	3,134	△16.1	2,248	△18.9
29年12月期第3四半期	45,726	4.5	3,660	42.2	3,735	37.6	2,771	57.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	80 14	80 14
29年12月期第3四半期	98 83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	104,754	88,184	84.2
29年12月期	104,741	87,119	83.2

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 88,173百万円 29年12月期 87,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
30年12月期	—	24 00	—		
30年12月期(予想)				24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	△3.3	4,100	△34.7	4,200	△34.4	3,000	△36.4	106 93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2018年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年12月期 3 Q	28,800,000株	29年12月期	28,800,000株
30年12月期 3 Q	738,710株	29年12月期	751,603株
30年12月期 3 Q	28,055,857株	29年12月期 3 Q	28,048,772株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	平成29年12月期 第3四半期累計期間	平成30年12月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	45,726	45,543	△182	△0.4%
営業利益(百万円)	3,660	3,044	△616	△16.8%
経常利益(百万円)	3,735	3,134	△600	△16.1%
四半期純利益(百万円)	2,771	2,248	△523	△18.9%

売上高は、45,543百万円と前年同期に比べ182百万円(0.4%)減少しました。これは、製商品売上高については平成30年4月に実施された薬価改定の影響を受けたものの、主力製品の価値最大化及び更なる市場浸透・拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長したことにより前年同期並みとなりましたが、その他の売上高に含まれる手数料収入が減少したことによるものです。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は後発品及び薬価改定の影響により9,043百万円と前年同期に比べ784百万円(8.0%)減少しましたが、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」は市場浸透・拡大に注力したことにより4,754百万円と前年同期に比べ316百万円(7.1%)増加しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が4,057百万円と前年同期に比べ502百万円(11.0%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は1,260百万円と前年同期に比べ376百万円(42.7%)、「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は741百万円と前年同期に比べ446百万円(151.0%)それぞれ増加しました。
- ・HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が1,086百万円と前年同期に比べ2,285百万円(67.8%)減少しましたが、平成29年1月に販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は8,827百万円と前年同期に比べ2,792百万円(46.3%)増加しました。また、「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は5,246百万円と前年同期に比べ836百万円(19.0%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したほか、「シダトレン スギ花粉舌下液」「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」の主原料であるスギ花粉在庫について、一過性の廃棄損失を計上したこと等により23,547百万円と前年同期に比べ945百万円(4.2%)増加しました。一方、販売費及び一般管理費は研究開発費や管理費が減少したこと等により18,952百万円と前年同期に比べ511百万円(2.6%)減少しました。

以上の結果、営業利益は3,044百万円と前年同期に比べ616百万円(16.8%)、経常利益は3,134百万円と前年同期に比べ600百万円(16.1%)、四半期純利益は2,248百万円と前年同期に比べ523百万円(18.9%)それぞれ減少しました。

(2) 財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産は、104,754百万円と前事業年度末に比べ12百万円(0.0%)増加しました。これは、受取手形及び売掛金が3,779百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,885百万円、現金及び預金が2,737百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金が838百万円、投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用が753百万円減少しましたが、有価証券が7,387百万円、投資有価証券が4,311百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、16,570百万円と前事業年度末に比べ1,052百万円(6.0%)減少しました。これは、未払法人税等が1,062百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、88,184百万円と前事業年度末に比べ1,065百万円(1.2%)増加しました。これは、主に利益剰余金が901百万円増加したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は3,101百万円です。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な進捗及び成果につきましては、次のとおりです。

- ・平成28年10月に日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)と日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結したJAK阻害剤「JTE-052」の皮膚外用製剤につきまして、小児患者を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験を開始しております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2018年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成30年7月30日「平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を以下のとおり修正しております。

	平成30年12月期 前回予想	平成30年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	(参考) 平成29年12月期 実績
売上高(百万円)	61,500	62,000	500	0.8%	64,135
営業利益(百万円)	3,500	4,100	600	17.1%	6,281
経常利益(百万円)	3,600	4,200	600	16.7%	6,403
当期純利益(百万円)	2,600	3,000	400	15.4%	4,718

売上高につきましては、「レミッチ」「ミティキュア ダニ舌下錠」の販売状況が計画を上回って推移していること等により、前回予想を上回る見通しとなりました。

利益面につきましては、売上高の増加、研究開発費の減少等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回予想からの変更はありません。

(業績予想に関する注意事項)

平成30年8月、JTはGilead Sciences(以下、「Gilead社」)が創製し、JTが日本国内での独占的開発・商業化権を保有する抗HIV薬6品(「ピリアード錠」「エムトリバカプセル」「ツルバダ配合錠」「スタリビルド配合錠」「ゲンボイヤ配合錠」「デシコピ配合錠」)について、Gilead社とのライセンス契約の解消に向けて協議を開始することを旨とした法的拘束力のない意思確認書をGilead社と締結しております。これに併せて、当社はJTと抗HIV薬6品の日本国内における独占的販売権に関する契約の解消に向けて協議を開始することを旨とした法的拘束力のない意思確認書を締結しておりますが、本件の当社業績に与える影響については業績予想に含めておりません。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,458	3,720
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	9,836	6,951
受取手形及び売掛金	29,123	25,344
有価証券	24,957	32,345
商品及び製品	6,036	6,299
仕掛品	609	638
原材料及び貯蔵品	3,480	2,957
その他	3,478	2,517
流動資産合計	83,980	80,773
固定資産		
有形固定資産	5,540	5,333
無形固定資産	817	738
投資その他の資産		
投資有価証券	7,478	11,790
その他	6,924	6,118
投資その他の資産合計	14,403	17,908
固定資産合計	20,761	23,980
資産合計	104,741	104,754
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,242	7,644
未払法人税等	1,396	333
賞与引当金	684	1,368
役員賞与引当金	52	45
返品調整引当金	5	5
その他	5,486	5,314
流動負債合計	15,868	14,712
固定負債		
退職給付引当金	895	1,025
その他	858	832
固定負債合計	1,753	1,857
負債合計	17,622	16,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,426
利益剰余金	76,238	77,140
自己株式	△1,480	△1,455
株主資本合計	86,364	87,301
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	745	871
評価・換算差額等合計	745	871
新株予約権	9	11
純資産合計	87,119	88,184
負債純資産合計	104,741	104,754

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	45,726	45,543
売上原価	22,602	23,547
売上総利益	23,123	21,996
販売費及び一般管理費		
販売促進費	3,560	3,655
給料及び手当	4,365	4,406
賞与引当金繰入額	1,148	1,160
研究開発費	3,516	3,101
その他	6,872	6,627
販売費及び一般管理費合計	19,463	18,952
営業利益	3,660	3,044
営業外収益		
受取利息	19	35
受取配当金	11	12
保険配当金	24	24
その他	31	21
営業外収益合計	86	94
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	10	3
その他	1	0
営業外費用合計	12	4
経常利益	3,735	3,134
特別損失		
固定資産除却損	20	1
災害による損失	—	22
特別損失合計	20	24
税引前四半期純利益	3,714	3,109
法人税等	942	861
四半期純利益	2,771	2,248

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

2018年12月期 第3四半期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2018年12月期 第3四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 設備投資の状況	P.6
	⑤ 非資金項目	P.6
	⑥ 研究開発の状況	P.6
III	2018年12月期 業績予想	P.7
	① 損益計算書	P.7
	② 製商品別売上高	P.9
	③ 設備投資の状況	P.10
	④ 非資金項目	P.10
	⑤ 配当	P.10
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2018年10月31日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

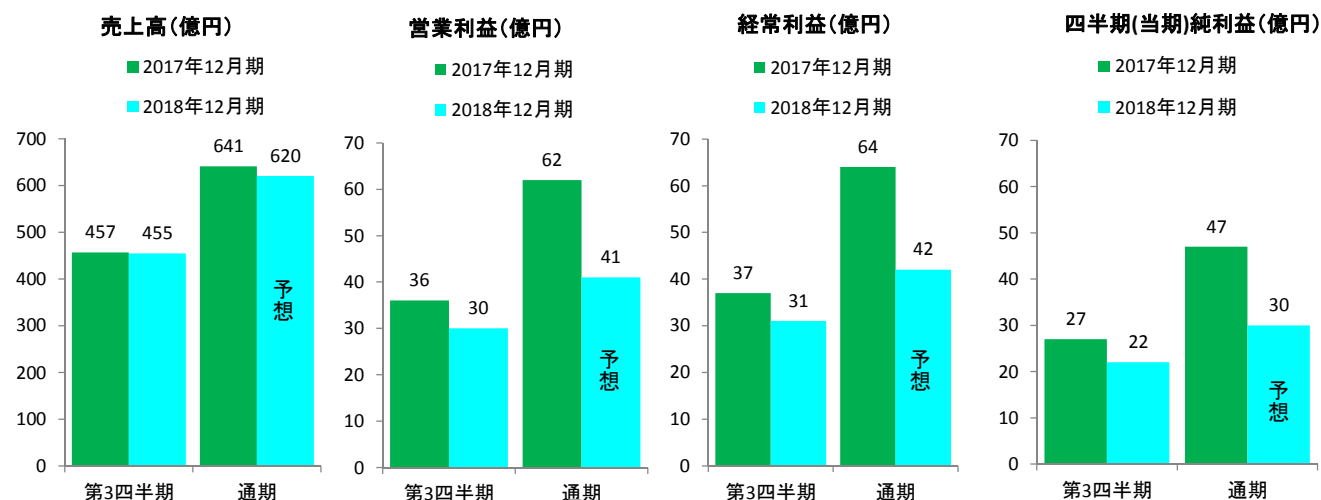
① 経営成績

2018年12月期 業績予想については、前回発表（2018年7月30日「平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

(単位:百万円)	2017年12月期 第3四半期 A	2018年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2017年12月期 実績	2018年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	45,726	45,543	△182	△0.4	64,135	62,000	73.5
営業利益	3,660	3,044	△616	△16.8	6,281	4,100	74.2
経常利益	3,735	3,134	△600	△16.1	6,403	4,200	74.6
四半期(当期)純利益	2,771	2,248	△523	△18.9	4,718	3,000	75.0
(参考)							
研究開発費	3,516	3,101	△415	△11.8	4,608	4,400	70.5
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 98.83	80.14	△18.69		168.22	106.93	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 3.3	2.6	△0.7		5.5	-	
総資産経常利益率	(%) 3.8	3.0	△0.8		6.3	-	
売上高営業利益率	(%) 8.0	6.7	△1.3		9.8	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 2.8	2.1	△0.7		4.6	-	

(業績予想に関する注意事項)

2018年8月、日本たばこ産業株式会社（以下、「JT」）はGilead Sciences（以下、「Gilead社」）が創製し、JTが日本国内での独占的開発・商業化権を保有する抗HIV薬6品（「ピリアード錠」「エムトリバカプセル」「ツルバダ配合錠」「スタビルド配合錠」「ゲンボイヤ配合錠」「デシコビ配合錠」）について、Gilead社とのライセンス契約の解消に向けて協議を開始することを旨とした法的拘束力のない意思確認書をGilead社と締結しております。これに併せて、当社はJTと抗HIV薬6品の日本国内における独占的販売権に関する契約の解消に向けて協議を開始することを旨とした法的拘束力のない意思確認書を締結しておりますが、本件の当社業績に与える影響については業績予想に含めておりません。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。



② 財政状態

(単位:百万円)	2017年12月期 A	2018年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	104,741	104,754	12	0.0
純資産	87,119	88,184	1,065	1.2
自己資本比率	(%) 83.2	84.2	1.0	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 3,105.68	3,142.16	36.48	

Ⅱ 2018年12月期 第3四半期実績

① 四半期損益計算書

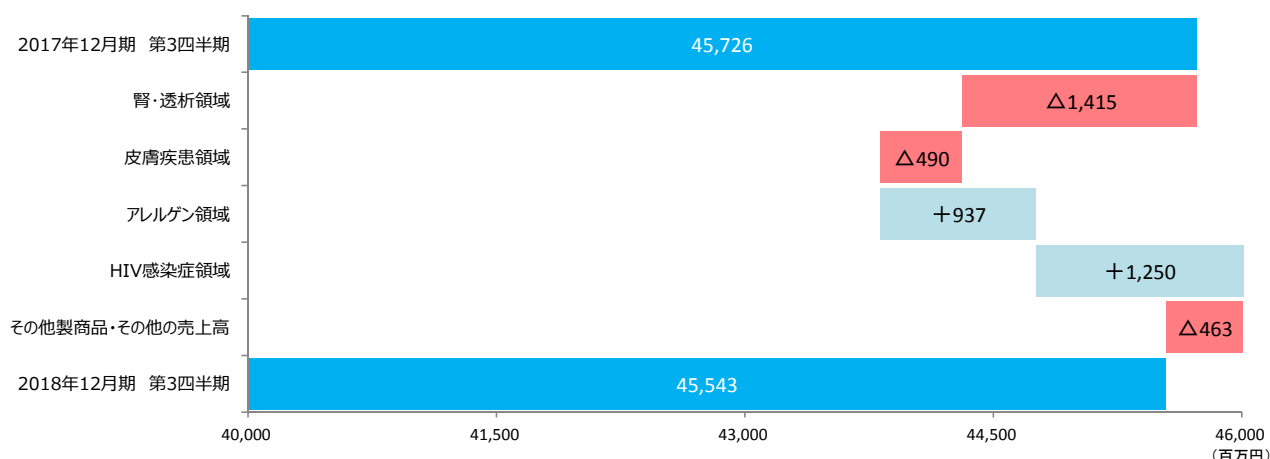
(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期	第3四半期		
	A	B		
売上高	45,726	45,543	△182	△0.4
製商品売上高	44,930	44,921	△8	△0.0
腎・透析領域	17,995	16,579	△1,415	△7.9
皮膚疾患領域	7,235	6,744	△490	△6.8
アレルギー領域	1,437	2,374	937	65.2
HIV感染症領域	14,043	15,293	1,250	8.9
その他	4,218	3,928	△290	△6.9
その他の売上高	795	622	△173	△21.7
売上原価	22,602	23,547	945	4.2
製商品売上原価	22,561	23,507	945	4.2
その他の原価	40	40	△0	△0.8
売上総利益	23,123	21,996	△1,127	△4.9
販売費及び一般管理費	19,463	18,952	△511	△2.6
販管費(研究開発費除く)	15,946	15,850	△95	△0.6
研究開発費	3,516	3,101	△415	△11.8
営業利益	3,660	3,044	△616	△16.8
営業外収益	86	94	7	-
営業外費用	12	4	△7	-
経常利益	3,735	3,134	△600	△16.1
特別損失	20	24	3	-
税引前四半期純利益	3,714	3,109	△604	△16.3
法人税等	942	861	△81	-
四半期純利益	2,771	2,248	△523	△18.9

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2018年12月期	増減
	第3四半期	第3四半期	
	A	B	
売上原価	49.4	51.7	2.3
販売費及び一般管理費	42.6	41.6	△1.0
研究開発費	7.7	6.8	△0.9
営業利益	8.0	6.7	△1.3
経常利益	8.2	6.9	△1.3
四半期純利益	6.1	4.9	△1.2

【対前年同期増減要因】

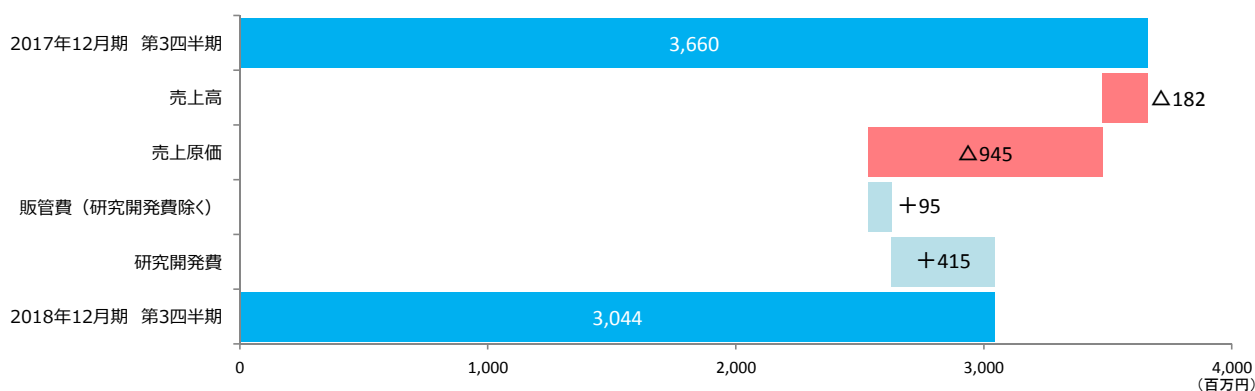
売上高（45,543百万円 対前年同期△182百万円）



主な増減要因

製商品売上高	： 薬価改定による減少、販売数量の伸長による増加			
腎・透析領域	レミッチ	△784百万円	注射用フサン	△598百万円
	ユリノーム錠	△238百万円	リオナ錠	+316百万円
皮膚疾患領域	アンテベート	△502百万円		
アレルギー領域	ミテイクア ダニ舌下錠	+446百万円	シダトレン スギ花粉舌下液	+376百万円
HIV感染症領域	デシコビ配合錠	+2,792百万円	ゲンボイヤ配合錠	+836百万円
	ツルバダ配合錠	△2,285百万円		
その他製商品・その他の売上高	手数料収入	△145百万円		
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（3,044百万円 対前年同期△616百万円）



主な増減要因

売上原価	： 販売数量の伸長、スギ花粉在庫の一過性の廃棄損失計上による増加
販管費（研究開発費除く）	： 管理費の減少
研究開発費	： 臨床試験費用（TO-206、TO-203小児鼻炎）、共同開発費用（JTE-052）の減少、共同開発費用（JTS-661）の増加

経常利益（3,134百万円 対前年同期△600百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（2,248百万円 対前年同期△523百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2017年12月期 第3四半期 A	2018年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	44,930	44,921	△8	△0.0
レミッチ	9,828	9,043	△784	△8.0
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
デシコピ配合錠	6,035	8,827	2,792	46.3
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠	4,410	5,246	836	19.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	4,438	4,754	316	7.1
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※	4,559	4,057	△502	△11.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	1,824	1,923	98	5.4
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※	1,540	1,430	△110	△7.2
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	883	1,260	376	42.7
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ロコイド ※	1,030	1,133	103	10.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゼフナート	1,107	1,117	9	0.8
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
ツルバダ配合錠	3,372	1,086	△2,285	△67.8
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
注射用フサン ※	1,435	837	△598	△41.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	295	741	446	151.0
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
マグセント	789	693	△95	△12.1
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ユリノーム錠 ※	752	513	△238	△31.7
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
その他製商品	2,627	2,253	△374	△14.3

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2017年12月期 第3四半期 A	2018年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	11,659	11,176	△482	△4.1
自社品比率 (%)	26.0	24.9	△1.1	-

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第3四半期 B			
流動資産	83,980	80,773	△3,206	△3.8	77.1
現金及び預金	6,458	3,720	△2,737		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	9,836	6,951	△2,885		
受取手形及び売掛金	29,123	25,344	△3,779		
有価証券	24,957	32,345	7,387		
たな卸資産	10,126	9,895	△231		
その他	3,478	2,517	△961		
固定資産	20,761	23,980	3,219	15.5	22.9
有形固定資産	5,540	5,333	△206		
無形固定資産	817	738	△78		
投資その他の資産	14,403	17,908	3,505		
投資有価証券	7,478	11,790	4,311		
長期前払費用	5,748	4,994	△753		
その他	1,176	1,123	△53		
資産合計	104,741	104,754	12	0.0	100.0
流動負債	15,868	14,712	△1,156	△7.3	14.0
買掛金	8,242	7,644	△598		
未払法人税等	1,396	333	△1,062		
賞与引当金	684	1,368	683		
その他	5,544	5,365	△178		
固定負債	1,753	1,857	103	5.9	1.8
負債合計	17,622	16,570	△1,052	△6.0	15.8
株主資本	86,364	87,301	937	1.1	83.4
評価・換算差額等	745	871	126	17.0	0.8
新株予約権	9	11	1	14.3	0.0
純資産合計	87,119	88,184	1,065	1.2	84.2
負債純資産合計	104,741	104,754	12	0.0	100.0

主な増減要因

(流動資産)

有価証券 : 債券及び信託受益権の取得による増加

(固定資産)

投資有価証券 : 債券の取得による増加

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期 第3四半期 A	2018年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
設備投資額	650	485	△165	△25.4
有形固定資産	506	353	△152	△30.2
無形固定資産	144	132	△12	△8.5

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期 第3四半期 A	2018年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
減価償却費	889	769	△120	△13.6
長期前払費用償却費	793	761	△32	△4.1

⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤			Phase III			・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 (適応追加) ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
皮膚疾患領域								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア タン舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II/III終了※			・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時(2018年7月30日)からの変更点

・JTE-052(小児アトピー性皮膚炎)の国内Phase IIIの開始

(参考)

2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症(SHPT)治療薬であるcalcifediol徐放製剤(米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売)について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

Ⅲ 2018年12月期 業績予想

2018年12月期 業績予想については、前回発表（2018年7月30日「平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2018年12月期	2018年12月期	修正額	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C		
売上高	61,500	62,000	500	64,135	△2,135	△3.3
製商品売上高	60,810	61,280	470	62,935	△1,655	△2.6
腎・透析領域	21,390	21,700	310	25,276	△3,576	△14.1
皮膚疾患領域	9,190	9,190	-	9,905	△715	△7.2
アレルギー領域	3,210	3,370	160	2,099	1,270	60.5
HIV感染症領域	21,510	21,520	10	19,777	1,742	8.8
その他	5,510	5,500	△10	5,877	△377	△6.4
その他の売上高	690	720	30	1,199	△479	△40.0
売上原価	31,600	31,700	100	31,293	406	1.3
売上総利益	29,900	30,300	400	32,841	△2,541	△7.7
販売費及び一般管理費	26,400	26,200	△200	26,559	△359	△1.4
販売費（研究開発費除く）	21,700	21,800	100	21,950	△150	△0.7
研究開発費	4,700	4,400	△300	4,608	△208	△4.5
営業利益	3,500	4,100	600	6,281	△2,181	△34.7
経常利益	3,600	4,200	600	6,403	△2,203	△34.4
当期純利益	2,600	3,000	400	4,718	△1,718	△36.4

(参考) 売上高に対する比率

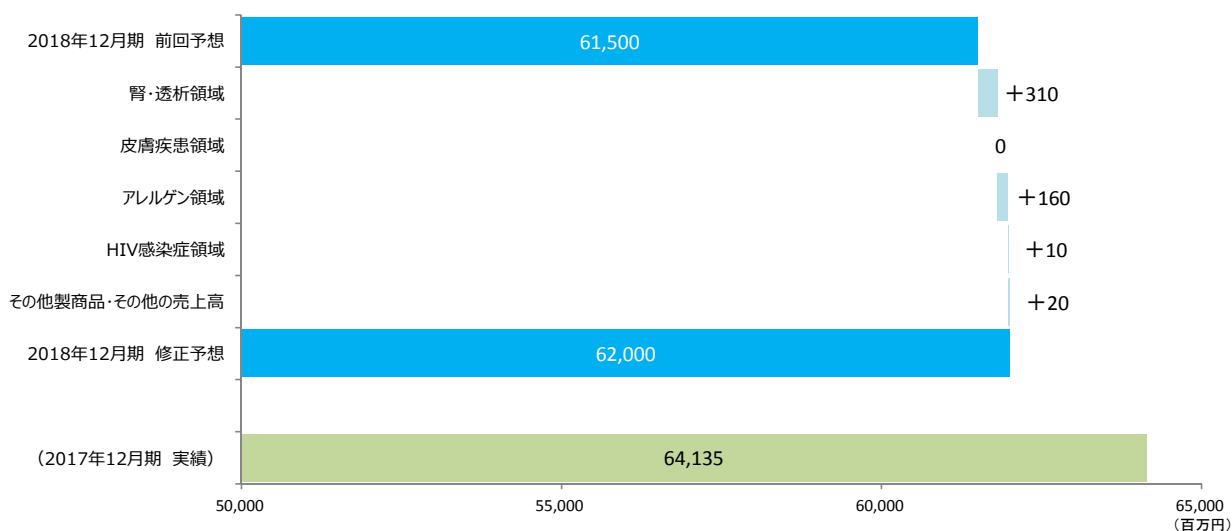
(単位:%)	2018年12月期	2018年12月期	増減	2017年12月期	増減
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C	
売上原価	51.4	51.1	△0.3	48.8	2.3
販売費及び一般管理費	42.9	42.3	△0.6	41.4	0.9
研究開発費	7.6	7.1	△0.5	7.2	△0.1
営業利益	5.7	6.6	0.9	9.8	△3.2
経常利益	5.9	6.8	0.9	10.0	△3.2
当期純利益	4.2	4.8	0.6	7.4	△2.6

(業績予想に関する注意事項)

2018年8月、JTはGilead社が創製し、JTが日本国内での独占的開発・商業化権を保有する抗HIV薬6品（「ビリアード錠」「エムトリバカプセル」「ツルバダ配合錠」「スタビルド配合錠」「ゲンボイヤ配合錠」「デシコビ配合錠」）について、Gilead社とのライセンス契約の解消に向けて協議を開始することを旨とした法的拘束力のない意思確認書をGilead社と締結しております。これに併せて、当社はJTと抗HIV薬6品の日本国内における独占的販売権に関する契約の解消に向けて協議を開始することを旨とした法的拘束力のない意思確認書を締結しておりますが、本件の当社業績に与える影響については業績予想に含めておりません。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

【2018年12月期 対前回予想増減要因】

売上高（62,000百万円 対前回予想+500百万円）

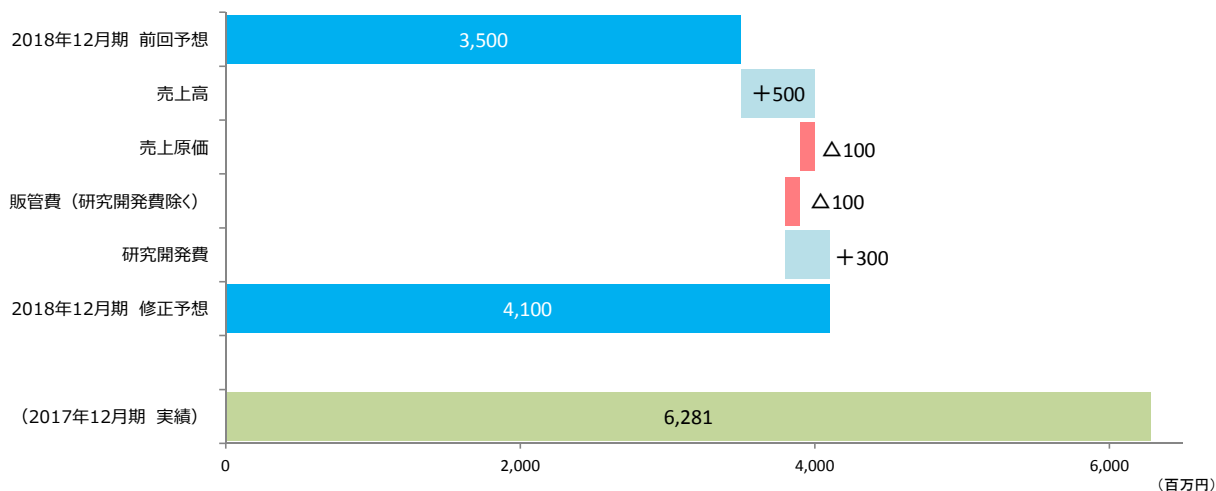


主な増減要因

腎・透析領域	: レミッチ	+340百万円
アレルギー領域	: ミテイクア ダニ舌下錠	+190百万円

※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（4,100百万円 対前回予想+600百万円）



主な増減要因

研究開発費	: 共同開発費用（JTS-661、JTT-751）、臨床試験費用（TO-206）の減少
-------	---

経常利益（4,200百万円 対前回予想+600百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,000百万円 対前回予想+400百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2018年12月期 前回予想 A	2018年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2017年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	60,810	61,280	470	62,935	△1,655	△2.6
デシコビ配合錠	12,600	12,560	△40	9,218	3,341	36.3
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
レミッチ	10,780	11,120	340	13,838	△2,718	△19.6
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]						
ゲンボイヤ配合錠	7,330	7,370	40	6,325	1,044	16.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
リオナ錠	6,860	6,760	△100	6,245	514	8.2
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]						
アンテベート ※	5,620	5,600	△20	6,282	△682	△10.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ピオスリー	2,690	2,690	-	2,545	144	5.7
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]						
ケイキサレート ※	1,960	1,980	20	2,123	△143	△6.8
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]						
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	1,730	1,550	△180	1,295	254	19.6
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]						
ロコイド ※	1,500	1,530	30	1,411	118	8.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ゼフナート	1,480	1,470	△10	1,483	△13	△0.9
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]						
ツルバダ配合錠	1,400	1,420	20	3,941	△2,521	△64.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
注射用フサン ※	1,100	1,150	50	2,047	△897	△43.8
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]						
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	860	1,050	190	461	588	127.6
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]						
マグセント	1,010	990	△20	1,115	△125	△11.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]						
ユリノーム錠 ※	690	690	-	1,020	△330	△32.4
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]						
その他製商品	3,200	3,350	150	3,579	△229	△6.4

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2018年12月期 前回予想 A	2018年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2017年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	15,310	15,510	200	16,323	△813	△5.0
自社品比率 (%)	25.2	25.3	0.1	25.9	△0.6	-

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2018年12月期 前回予想 A	2018年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2017年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	1,038	958	△80	931	26	2.8
有形固定資産	813	749	△64	714	34	4.9
無形固定資産	225	209	△16	217	△8	△4.0

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2018年12月期 前回予想 A	2018年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2017年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,058	1,050	△8	1,174	△124	△10.6
長期前払費用償却費	964	964	-	1,061	△97	△9.2

⑤ 配当

	2018年12月期 前回予想 A	2018年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2017年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 (円)	48	48	0	48	0	0.0
配当性向 (%)	51.8	44.9	△6.9	28.5	16.4	-

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。